

富山県氷見市



持続可能な里山生活を守るべく、「コミュニティ」の再構築と、「稼ぐ地域づくり」への転換を図る

氷見市地域振興課 速川地区まちづくり協議会

富山県氷見市とは



人口:約4万人

面積:230.54km²

富山県の北西部、石川県に隣接



「寒ブリ」をはじめとする海の幸だけでなく、
氷見牛や農作物、里山の恵みも豊富で、
獅子舞を代表とする伝統芸能も盛ん



速川地区とRMO



今回皆さんを受け入れる速川地区は、氷見市の西部地区に位置する人口約1,000人の中山間地域です。

「速川地区まちづくり協議会」を中心に、関係人口創出に向けた地区の魅力を知れる様々なイベント開催や、地域住民が暮らしやすいまちづくりにむけた施策を行っています。



話し合いの様子



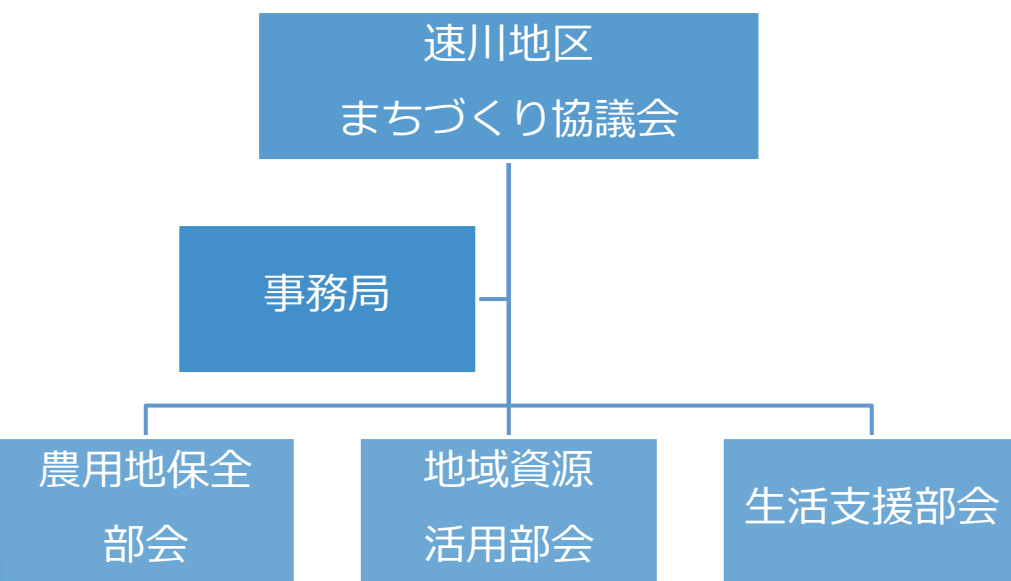
学生へ向けた農作業体験の実施

現在、農林水産省の「農村型地域運営組織（農村RMO）」の「モデル形成支援地域」に選定され、持続可能な地域にむけ、補助を活用して令和5年度から実証実験を行っています。

「農村型地域運営組織（農村RMO）」とは、複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織のこと。

実証実験の活動内容

RMOの組織



・これまでの取り組み例

地域資源活用部会

- 関係人口創出に向けた交流イベント等の開催
 - ・地域内の廃校舎を活用し、様々な地域特産品を販売する「里山マルシェ」の開催。



生活支援部会

- 住民が暮らしやすいまちづくり
 - ・地域の人口減少に対応するため、連絡手段の効率化・自治会事務の負担軽減対策として
スマホ教室の定期開催。



速川地区まちづくり協議会HP <https://himi-hayakawa.com>

農村コミュニティのメリット（住民同士の関わりの深さ、意思決定の速さ）をフルに活用することで、**今後の課題（地域内の人口減少・高齢化）**に対応できる、**持続可能な地域運営の基盤づくり**を行っています。

見えてきた課題、お願いしたいこと

「農村RMO」の取組みを進める中で、次の課題が浮き彫りに・・・

- ①地区内の世代交代ができていない
- ②地区外との交流が少ない
- ③地域内での情報の共有が不足している
- ④地域内での各種資源の有効活用ができていない（稼げていない）



特に・・・

- 地区内の住人の半数以上が高齢者で、30～40代の若い世代の地区行事参加もコロナ禍以降激減。
地区内での**コミュニティの再構築**（世代間交流のできる場所、イベント、仕組みの整備など）が必須
- 地域での稼げる仕組みを往上げること**（特産物の増産、加工品の開発など）が、
持続可能な里山の暮らしを守ることに繋がり、速川地区が存続していくために重要



そこで・・・

○今回お願いしたい提案のテーマ

- ①コミュニティの再構築 ②稼げる地域づくり**

2つの課題解決どちらかにつながればテーマは自由です。
もちろん複数提案也大歓迎！

- 「**ヨソモノ・ワカモノ目線**」での学生の自由な発想を地域に落とし込み、
現在実施している「農村RMO」の実証実験の中に
その新たなアイデアや視点を組み込んでいきたい！

想定スケジュール

6月：	オンラインミーティング1回目 ○顔合わせ、地域の現状や課題の共有
7月初旬：	オンラインミーティング2回目 ○課題解決方針と現地活動内容調整
8月後半～ 9月中旬	現地活動1回目 ○速川地区を実際に知ってもらう、 地域活性化のキーワード探し
10月中旬	オンラインミーティング3回目 ○現地活動2回目の検討
12月	現地活動2回目 ○速川ふれあい祭への参加（模擬店出店も可） 解決アクションの試行
1月	オンラインミーティング（4回目） ○活動内容振り返り
2月	現地報告会

（体験活動イメージ）

○農産物の収穫体験

⇒特産のサツマイモ、イチジク、ハーブ、メロンなどの収穫体験と、稼げる農業にするため問題点探し、住民へのインタビュー

○秋祭りの獅子舞参加

⇒伝統行事をどう後世に残せるか、コミュニティの場として生かさないか

○地区内観光マップの検討

⇒大伴家持にゆかりのある地区内スポットを、自転車でめぐる体験を行い、地区内観光マップの参考に

- 現地活動1回目は速川地区について幅広く知っていただき、2回目は提案のテーマに沿った体験に調整できればと考えています
- 地区の人柄や風土に触れていただくことを大切にしていきます。終了後も交流人口として、速川地区と繋がってもらえるととても嬉しいです。